

2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	衛生管理	学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須
担当教員	出石 文男	学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	授業方法	講義
授業概要 授業内容	<p>・公衆衛生・環境衛生、保健の基礎的な学びを通してその意義と目的を理解する。関連して具体的な感染症やその予防法も学ぶ。理容師・美容師等の日常業務に生かせるようスキルを深める。</p> <p>・授業は講義形式で行い、国家試験(筆記)の過去問題と関連づけて説明を行う。学期末には前・後期テストを実施する。</p>						
到達目標	<p>・健康と衛生との関連性が分かる。</p> <p>・「公衆衛生」「環境衛生」「保健」「感染症予防」の重要性が理解できる。</p> <p>・理容師、美容師等が授業を通して社会の責任ある役割を担う業務であることが理解できる。</p> <p>・国家試験合格を目標とする。</p>						
授業計画・内容							
第1週	1-1-1 オリエンテーション 公衆衛生 公衆衛生の意義と課題	第16週	3-1-1(2) 感染症 感染症と法律				
第2週	1-1-2(1)(2) 公衆衛生 公衆衛生発展の歴史 欧米と日本の歩み	第17週	3-1-1(3) 感染症 感染症の分類				
第3週	1-1-2(3) 公衆衛生 公衆衛生発展の歴史 消毒法の歴史	第18週	3-1-2(1)(2) 感染症 病原微生物 微生物の種類、形と大きさ				
第4週	1-1-3(1)(2), 1-1-4 公衆衛生 理容師・美容師と公衆衛生	第19週	3-1-2(3)(4) 感染症 微生物の構造、増殖と環境の影響				
第5週	1-2-1(1)(2) 保健 保健 母子保健 成人・高齢者保健	第20週	3-1-3(1)(2) 感染症の予防 病原性と感受性 汚染、感染及び発病				
第6週	1-2-1(3) 保健 保健 精神保健	第21週	3-1-3(3)(4) 感染症の予防 常在細菌叢 免疫と予防接種				
第7週	2-1-1(1) 環境衛生 環境衛生の内容	第22週	3-1-3(5) 感染症の予防 感染症発生の要因				
第8週	2-1-1(2)(3) 環境衛生 環境衛生の目的と意義 環境衛生活動	第23週	3-1-3(6) 感染症の予防 感染症予防の3原則				
第9週	2-1-2(1)(2) 環境衛生 空気環境 健康と空気 温度、湿度、気流	第24週	3-2-1 感染症の各論 理容・美容と感染症				
第10週	2-1-3(1)(2) 環境衛生 衣服・住居の衛生	第25週	3-2-2(1) 主な感染症 空気、飛沫を介して感染する感染症				
第11週	2-1-4(1)(2) 環境衛生 上・下水道と廃棄物	第26週	3-2-2(2) 主な感染症 飲食物を介して感染する感染症				
第12週	2-1-4(1)(2) 環境衛生 上・下水道と廃棄物	第27週	3-2-2(3) 主な感染症 血液等を介して感染する感染症				
第13週	2-1-6 環境衛生 環境保全 水質汚濁	第28週	3-2-2(4) 主な感染症 動物・節足動物を介して感染する感染症				
第14週	2-1-5(1)(2) 環境衛生 衛生害虫とネズミ	第29週	3-3-1(1)(2) 具体的な対策の例 標準予防策 咳のある客				
第15週	3-1-1(1) 感染症 人と感染症 感染症の歴史	第30週	3-3-1(3)(4) 具体的な対策の例 病変の皮膚をもつ客 嘔吐した客				
評価方法	<p>定期試験(前期・後期)を実施し、ノート、小テスト、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>* 定期試験(70%)、ノートの提出と小テスト(20%)、出席(10%)</p>						
教科書 教材など	<p>「衛生管理」公益社団法人 日本理容美容教育センター発行 プロジェクター(パワーポイント使用)</p>						
実務経験	薬剤師					実務経験のある教員による 授業科目	✓

2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	保 健		学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須
担当教員	菊村 洋		学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	授業方法	講義
授業概要 ・ 授業内容	<p>・人体の構造及び機能について学習する。座学を中心に教具(人体の模型等)、視聴覚教材(映像・写真)、人体図等を活用し理解を深める。・授業は講義形式で、単元毎に課題提出、単元試験。その他、練習問題、ワークブック(日本理容美容教育センター)、国家試験過去問題を実施する。</p>							
到達目標	<p>・保健を学び、自分とお客様の健康と美について理解を深める。・卒業と国家試験(学科)合格を目指す。</p>							
授業計画・内容								
第1週	保健授業概要説明 自己紹介			第16週	第5章 感覚器系			
第2週	参考資料配付説明 視聴覚教材による人体学習			第17週	第5章 まとめ 練習問題			
第3週	第1章 頭部、顔部、頸部の体表解剖学			第18週	第6章 血液・循環器系			
第4週	第1章 頭部、顔部、頸部の体表解剖学			第19週	前期試験対策			
第5週	第1章 まとめ 練習問題			第20週	前期試験			
第6週	第2章 骨格系			第21週	第6章 血液・循環器系			
第7週	第2章 骨格系			第22週	第6章 まとめ 練習問題			
第8週	第2章 まとめ 練習問題			第23週	第7章 呼吸器系			
第9週	第3章 筋系			第24週	第7章 呼吸器系			
第10週	第3章 筋系			第25週	第7章 まとめ 練習問題			
第11週	第3章 まとめ 練習問題			第26週	第8章 消化器系			
第12週	第4章 神経系			第27週	第8章 消化器系			
第13週	第4章 神経系			第28週	第8章 まとめ 練習問題			
第14週	第4章 まとめ 練習問題			第29週	後期試験対策			
第15週	第5章 感覚器系			第30週	後期試験			
評価方法	<p>・定期試験は前期・後期ともに実施し授業態度、出席状況、単元ごとの小テスト、単元ごとの課題内容を考慮して成績を評価する。* 評価目安: 定期試験(60%)・小テスト・課題内容(30%)・授業態度・出席(10%)</p>							
教科書 教材など	日本理容美容教育センター発行 書名:保健							
実務経験	美容学校教員(保健・文化)					実務経験のある教員による 授業科目		

2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	香粧品化学		学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須
担当教員	仁井名 由記		学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	授業方法	講義
授業概要・ 授業内容	<p>・香粧品の原料や配合などの成り立ち、性状、使用目的のほか、どのような薬品が香粧品に属するのか、その定義、社会的意義や特性、法的な根拠、製品の安定性について学習していく。</p> <p>・授業は講義形式で単元ごとに確認テストを行い、理解度を確認しながら進めていく授業である。</p>							
到達目標	美容師として必要な薬品の知識を学ぶことにより、お客様に提供する際の説明ができることや国家試験合格を目標にして、そこにたどり着くための忍耐力を養う。							
授業計画・内容								
第1週	1章 香粧品概論 1節 香化粧品の社会的意義と品質特性 2節 香粧品の規制			第16週	6節 色材 1色材と香粧品 2無機顔料			
第2週	3節 香粧品の安定性と取扱上の注意 4節 香粧品と安全性			第17週	3 有機合成色素 4光輝性顔料			
第3週	2章 香粧品原料 1節 香化粧品の対象となる人体各部の性状			第18週	5 天然色素			
第4週	2 皮膚と水 3 頭皮や毛髪 of 健康な状態			第19週	7節 香料			
第5週	4 爪の性状 5まぶたや口唇や性状			第20週	8節 その他の配合成分 1香粧品原料の品質保持に用いられる配合成分			
第6週	2節 水性原料 1 水 2 エタノール			第21週	2 香粧品配合成分があたえる機能			
第7週	3節油性原料 1油脂 2ロウ類 3炭化水素			第22週	3 その他特殊成分			
第8週	4その他油性原料 5 油性原料の機能			第23週	5節 高分子化合物			
第9週	4節 界面活性剤 1界面活性剤の基本的性質 2界面活性剤の種類			第24週	9節 ネイル、まつ毛エクステンション用材料 1合成樹脂			
第10週	3界面活性剤の香化粧品への応用			第25週	2 接着剤 3塗料			
第11週	5節 高分子化合物 1 高分子化合物と特性			第26週	3章 基礎香粧品 1節 皮膚清浄用香粧品 2節 化粧水			
第12週	2 高分子化合物の香粧品への応用			第27週	3節 クリーム・乳液 4その他の基礎香粧品			
第13週	復習			第28週	復習			
第14週	復習			第29週	復習			
第15週	復習			第30週	復習			
評価方法	<p>定期試験を実施し、毎授業時間後に行う小テスト、課題、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安:定期試験(34%) 小テストやレポート(33%) 授業態度や出席(33%)</p>							
教科書 教材など	<p>出版社:日本理容美容教育センター 書名:香化粧品化学 ・講師作成プリント</p>							
実務経験	株式会社 毛髪クリニックリーブ21 3年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	文化論	学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須
担当教員	神崎 順治	学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	授業方法	講義
授業概要 授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・古代から現代までのファッション文化を学び、理容・美容業の成り立ちやお客様とのコンセンサスを得るための基礎として、理容・美容文化を学ぶ。 ・授業はテキストを基に、歴史の流れや、日本と西洋の文化の違いや関連を感じ易くするために、日本と西洋の同時代を、講義形式やグループワークで交互に進める。 ・理容・美容の歴史に加え、2年次のヘアデザイン画の為の基礎練習として鉛筆デッサンや色鉛筆を使用して、彩色などの実技を履修する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目のねらいは、時代の流れとそこに生活する人々に育まれたヘアファッションの文化を学びこれからの時代やお客様の求めている「美しさ」を理解するための基礎を身につける。 ・美容師国家試験(筆記試験)に向け、理容・美容の歴史を学び、2年次に学力が定着できるように歴史の流れを理解する。 ・デザイン画を通して、自分の思い描いたイメージを形にし、お客様に伝えられるようにする。 						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション 総論と概要	第16週	【ファッション文化日本】近代① 【デザイン画】陰影の練習				
第2週	【日本の理・美容の歴史】発生～江戸時代 【デザイン画】道具の使い方	第17週	【ファッション文化日本】近代② 【デザイン画】陰影の練習				
第3週	【日本の理・美容の歴史】近代～現代 【デザイン画】グラデーションをつくる	第18週	【ファッション文化日本】近代③ 【デザイン画】陰影の練習				
第4週	【ファッション文化史 日本】縄文・弥生・古墳時代 【デザイン画】顔の比率、パーツ練習(目・眉)	第19週	【ファッション文化史】年表づくり				
第5週	【ファッション文化史 日本】古代(飛鳥・奈良・平安) 【映画鑑賞】かぐや姫の物語	第20週	【ファッション文化史 西洋】中世ヨーロッパ 【デザイン画】色鉛筆の使い方				
第6週	【ファッション文化史 日本】古代(飛鳥・奈良・平安) 【デザイン画】顔の比率、パーツ練習(輪郭・鼻・口)	第21週	【ファッション文化史 西洋】中世ヨーロッパ 【デザイン画】色鉛筆の使い方				
第7週	【ファッション文化史 日本】古代(飛鳥・奈良・平安) 【デザイン画】線の練習	第22週	【ファッション文化史 日本】現代Ⅰ 【デザイン画】色を使ったヘアデザイン				
第8週	【ファッション文化史 西洋】古代(エジプト・ギリシャ・ローマ・ゲルマン) 【デザイン画】陰影の練習	第23週	【ファッション文化史 日本】現代Ⅱ 【デザイン画】色を使ったヘアデザイン				
第9週	【ファッション文化史 日本】中世 【デザイン画】頭髪の練習	第24週	【ファッション文化史 日本】現代Ⅲ・Ⅳ 【デザイン画】色を使ったヘアデザイン				
第10週	【ファッション文化史 西洋】中世ヨーロッパ 【デザイン画】頭髪の質感の練習	第25週	【ファッション文化史 西洋】現代Ⅰ・Ⅱ 【デザイン画】色を使ったヘアデザイン				
第11週	【ファッション文化史】前期・中期の復習とまとめ 【デザイン画】横顔の練習	第26週	【ファッション文化史 西洋】現代Ⅲ・Ⅳ 【デザイン画】全身を描く				
第12週	【ファッション文化史 日本】近世Ⅰ(江戸) 【デザイン画】いろいろな頭髪の練習	第27週	【ファッション文化史 西洋】現代Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ 【デザイン画】全身を描く				
第13週	【ファッション文化史 日本】近世Ⅱ(江戸) 【デザイン画】模写(男性の横顔)	第28週	【ファッション文化史】後期まとめ				
第14週	【ファッション文化史 日本】近世Ⅱ(江戸) 【デザイン画】模写(男性の横顔)	第29週	【礼装の種類】和装 【デザイン画】テーマに合わせたヘアデザイン				
第15週	【ファッション文化史 日本】近世Ⅱ(江戸) 【デザイン画】模写(男性の横顔)	第30週	【礼装の種類】洋装 【デザイン画】テーマに合わせたヘアデザイン				
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験(前期・後期)を実施し、提出物(授業でのプリント・実技)、授業態度や出席状況を考慮して、成績を評価する。 《評価の目安》 定期試験(70%)・提出物(20%)・授業態度及び出席(10%) 						
教科書 教材など	<ul style="list-style-type: none"> ・出版社：公益社団法人 日本理容美容教育センター 書名：文化論 						
実務経験	中学校教諭一級免許(美術)			実務経験のある教員による 授業科目			

2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	美容技術理論		学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須
担当教員	奥田 京子／森下 堅一／井上 祐樹		学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	授業方法	講義
授業概要 授業内容	<p>・美容技術はそれぞれ技術の裏付けとなる根拠があり、その理論や薬剤の取扱い等の説明をし理解させると同時に、技術の方法や注意点なども合わせ習得をしやすいように理解させる。</p> <p>・授業は講義形式でプロジェクターを使用し写真や図、実物などを手に取り、利用しながら授業展開をする。また提出物や小テストにより理解度を確認し、クラス全体の知識を高める。</p>							
到達目標	<p>・1年次は美容実習及び国家試験実技を習得する上で必要とされている理論を教えにすることを一つの目標としている。また、美容師国家試験筆記課題でもあるため十分な理論の知識を深めことで、美容技術理論の必要性を理解されることを目標にする。</p>							
授業計画・内容								
第1週	序章: 技術と理論(作業姿勢。人体・頭部の名称) *なぜ理論が必要であるのか。		第16週	6章 ヘアカーリング2 ピンカール各部の名称・分類 *カールの方向や、ベースについて				
第2週	1章 美容用具1(道具、器具、機械の違いについて) *美容師の道具・用具を理解させる。		第17週	6章 ヘアカーリング3 *ステムの方向、ループ・ピニング等				
第3週	1章 美容用具2(コーム・ブラシ・シザーズ・レザー等) *施術を行う上で必要な各部の名所を覚える。		第18週	6章 ピンカールの作り方・ウエーブ *スカalp・クロキノールカール・フィンガーウエーブ				
第4週	2章 シャンプーイング1 *目的と成分。目的別シャンプー・界面活性剤と、シャンプー剤の種類。		第19週	6章 ローラーカール *ローラーカールの効果と、巻き方、角度、				
第5週	2章 シャンプーイング2 *シャンプーの注意点と不安やマッサージ効果について		第20週	6章 ブロードライ ハンドドライヤー *その使い方と道具について				
第6週	2章 シャンプーイング3 技術プロセス *ブラッシングから、バック・サイドシャンプーの違い		第21週	6章 アイロンセット・その他 *持ち方、カールの出し方・ウイットヘアピースについて等				
第7週	2章 リンス・コンディショナー1 *役割と成分カチオン界面活性剤とは等		第22週	7章 カラーリング 種類とタイプ *染毛剤、染毛料の違いなど				
第8週	2章 リンス・コンディショナー2 *リンス・コンディショナー・トリートメントの違い		第23週	7章 カラーリング 染毛のメカニズム *酸化染毛剤の作用				
第9週	2章 3 スカルプトリートメント *その目的・成分・手順等、ヘッドスパについて		第24週	7章 色の基本 *色の原理、レベルとアンダートーン 明度彩度等				
第10週	5章 パーマネントウエーブの歴史と理論 *ウエーブ形成の仕組みパーマ剤のはたらき		第25週	7章 パッチテスト 染毛剤と皮膚炎 *パッチテストの実際と方法				
第11週	5章 パーマネントウエーブ 薬剤の分類 *各パーマ剤のタイプ、2浴式・加温式縮毛矯正等		第26週	7章 カラーリングの実際 *ブロッキング、塗布・ブリーチ技術				
第12週	5章 パーマ3 パーマ剤に関する注意事項 *施術に適さないケースや、トラブル等		第27週	3章 ヘアデザイン 美容とデザイン *ヘアデザインにおける錯覚の利用				
第13週	5章 技術の実際 *ロッドの選定法や、テストカール手順など		第28週	3章 錯覚の種類と説明 *幾何学錯視・ツェルナー錯視等				
第14週	6章 ヘアセッティング ヘアセットとは *基礎的要素、パート・シェープ・コームの持ち方		第29週	3章 デザインの要素 *点と線・面の効果				
第15週	6章 ヘアカーリング *ピンカール各部の名称・分類		第30週	3章 デザインの効果 *方向・比率・バランス等の応用				
評価方法	<p>・定期試験を実施し、授業内で小テスト・授業時にまとめたノートの提出、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価の目安: 定期試験と小テスト(70%)・提出物(20%)・授業態度と出席(10%)</p>							
教科書 教材など	<p>日本理容美容教育センター出版「美容技術理論1。公益法人理容師美容師試験研修センター発行(美容師実技試験課題「実技の解説及び理・美容衛生読本」)。視聴覚教材:プロジェクター(パワーポイント)</p>							
実務経験	奥田 京子(美容師歴:7年) / 森下 堅一(美容師歴:7年) 井上 祐樹(美容師歴:6年)					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	美容実習		学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須		
担当教員	奥田 京子 / 井上 祐樹 / 森下 堅一		学年・学期	1年・通年	時間数	480 時間	授業方法	実技		
授業概要・授業内容	<p>・美容技術を行う上で必要な、基本姿勢や用具類の取り扱いを理解させ、国家試験課題の技術条件に沿って練習を行う。また、「シャンプー」や「カラーリング」など、実践的な技術も習得する。</p> <p>・授業は主に実技演習で、授業により講義で各技術ごとに教科書、パワーポイントを使用して説明をする。実技では、デモンストレーションをすることで実際の動きを理解させる。美容師国家試験課題で課題作成時間が決まっているものは、実技の小テストや定期テストを実施し、目標を達成できるようにさせる。</p>									
到達目標	<p>・国家試験課題である「ワインディング」「オールウェーブセッティング」の技術の条件を理解し、決められた課題作成時間内にできるようにする。また、実技試験における衛生上の取り扱いについても理解することで美容師国家試験(実技)の合格を目指す。</p> <p>・サロンワークで必要な基本的なテクニックや知識を「カット」「セットアップ」「カラーリング」「シャンプー」などの実習を通じて身に付ける。</p>									
授業計画・内容										
第1週	・美容用具の理解と基本姿勢の習得。 ・ワインディング(ブロッキング正確に取る)			第16週	・ワインディング(タイムアップを目指す。) ・サイドシャンプー(トリートメント・ヘッドスパ)					
第2週	・ワインディング(上巻き・下巻き) * 巻く角度を理解させる。			第17週	・オールウェーブセッティング * ピンカールとウェーブのバランスを理解させる。					
第3週	・ワインディング(センターの配列を理解させる) * ブロッキングのタイムアップ。			第18週	・カット&ブロー(グラデーション) ・ワインディング(タイムアップを目指す。)					
第4週	・シャンプー(週2時間実施) ・ワインディング(センターを綺麗に巻く)			第19週	・オールウェーブ(スカルプチュアカール) ・シャンプー&トリートメント(相モデル)					
第5週	・サイドシャンプー(相モデル) ・ワインディング(全頭・構成を理解させる)			第20週	・カット&ブロー(レイヤー・セムレングス) ・ヘアカラー(ブリーチ・塗布の仕方)					
第6週	・ワインディング(全頭のタイムアップ) ・シャンプー&トリートメント(週2時間実施)			第21週	・ヘアカラー(ダブルカラー) ・オールウェーブ(リフト・メイポール・クロッキ)					
第7週	・セットアップ(アイロン使用) * 編み込みアレンジヘア			第22週	・オールウェーブ(7構成を理解させる) ・ワインディング(タイムアップを目指す。)					
第8週	・シザーの開閉(美容理論1参考) ・カット&ブロー(ワンレングス)			第23週	・カット&ブロー(ディスコネクション) * スタイルのバランス感を養う(錯覚現象)					
第9週	・まつ毛エクステンション(顔部の名称をウイッグで覚える) * まつ毛エクステンションの教科書参照			第24週	・オールウェーブ(復習) ・ワインディングのテスト(フォローアップ授業)					
第10週	・セットアップ(アイロン使用) * アイロンの使い方。(カールの出し方。)			第25週	・校外実習(ロールプレーン練習) * 実践を想定した動線とお客様対応					
第11週	・第5章まつ毛エクステンション技術 * ウイッグを使用。復習			第26週	・オールウェーブ(復習と見極め) ・ワインディング(見極め)					
第12週	・セット・カット&ブロー(仕上げ) * 錯覚現象を理解させる。			第27週	・ヘアカラー(ウイーピング・スライシング) ・オールウェーブ(タイムアップを目指す。)					
第13週	・ワインディング(タイム30分) * 見極め(放課後フォローアップ)			第28週	・ワインディング(後期試験) ・オールウェーブ(後期試験)					
第14週	・カット(レザーの使い方) * カット技法を覚える。			第29週	・カット&ブロー・カラーリング * 作品作り					
第15週	・ワインディング(30分) * 前期試験 オールウェーブ(フィンガーウェーブの作り方)			第30週	・ワインディング(規定のタイムを目指す。) ・オールウェーブ * 2年次に向けての調整。					
評価方法	<p>・授業内で定期試験を実施し、授業内では実技及び衛生チェックの小テスト、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安: 定期試験(70%)・実技及び衛生チェックの小テスト(20%)・授業態度や出席(10%)</p>									
教科書教材など	<p>・「美容技術理論1・2」</p> <p>・「美容師実技試験課題(技術の解説)」</p> <p>・プロジェクター(パワーポイント使用)</p>			<p>公益社団法人 日本理容美容教育センター発行</p> <p>公益社団法人 日本理容美容教育センター発行</p>						
実務経験	奥田 京子(美容師歴:7年)/ 森下 堅一(美容師歴:7年) 井上 祐樹(美容師歴:6年)					実務経験のある教員による 授業科目		✓		

2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	ビジネスマナー	学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	宮原 香由里	学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	授業方法	講義
授業概要 ・ 授業内容	<p>ビジネスマナーは、講義、ロールプレイ演習および授業プリントのファイリング等により、社会人の基本動作と心構えを身に付ける授業です。 前期は社会人としての心構え、基本動作および敬語と接遇表現を学びます。 後期は実務技能や就職活動に必要なマナーについて学ぶ予定です。</p>						
到達目標	<p>①返事、挨拶、お辞儀、敬語を徹底して習得し、日常的に使える接遇の基本を言動を身に付ける。 ②ノートを取り、自分のマニュアル作成ができるようにする。 ③授業プリントをファイリングすることで、日常的に書類管理できるスキルを身に付ける。 ④課題等の提出物の期日を守るための時間管理能力を身に付ける。 ⑤授業時に身だしなみを整えることを意識することで、社会人の仕事への姿勢に対する感覚を持つようにする。</p>						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション (授業ルールと評価の説明)	第16週	前期総復習				
第2週	「ビジネスマナー」の講義で学ぶこと	第17週	電話対応の基本マナー				
第3週	第一印象の重要性	第18週	電話話法				
第4週	学生としての基本言動	第19週	ビジネス電話対応の流れ				
第5週	社会人としての常識	第20週	電話の掛け方(インターンシップの依頼)				
第6週	基本行動(挨拶、お辞儀、笑顔、態度)	第21週	ビジネス文書の形式				
第7週	敬語の必要性(敬語とは)	第22週	お礼状の書き方				
第8週	尊敬語と謙譲語	第23週	お礼状の作成				
第9週	丁寧語・丁寧語・美化語	第24週	電話の受け方				
第10週	敬語の使い分け・敬称の使い方	第25週	伝言メモ				
第11週	接遇用語	第26週	お客様の予約を受ける				
第12週	接遇表現	第27週	伝言メモの書き方				
第13週	クッション用語と依頼の表現	第28週	その他の電話対応				
第14週	接遇表現の総合演習1	第29週	各種帳票				
第15週	接遇表現の総合演習2	第30週	ファイリング				
評価方法	<p>以下①～③の観点より、総合評価により単位認定します。出席と授業態度や課題提出状況を評価の大部分とするため、原則として成績不良者に対する再試験は実施しません。詳しくはオリエンテーション時に説明します。 ①授業点…課題への取り組み、提出状況、授業態度や身だしなみ等を減点法により採点します。最終締め切りまでに課題がすべて提出できない場合は大きく減点されます。 ②出席点…この教科の補講等も含む出席率を点数とします。半期につき出席率が80%必要です。 ③試験点…期末試験の成績(筆記試験だけでなく実技試験や口述試験をする場合もあります。)</p>						
教科書 教材など	<p>講師作成のプリントにより講義します。 授業時に配布するファイルにプリントを綴ることでテキスト兼ノートが完成します。</p>						
実務経験	一般企業にて営業職と事務職の経験(10年) ビジネスマナー・インストラクターとしての実務経験(25年目)				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	ヘアカラーコーディネート	学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	パステルカラー(安井 けい子/森 香絵)	学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	授業方法	講義
授業概要 ・ 授業内容	<p>・日々の生活にあたりまえにある、「色」について基礎知識を幅広く学ぶ授業である。基礎理論については、テキストを元にポイントをおさえて学び、各单元ごとに復習と、理解度を確認するための小テストを実施する。</p> <p>・授業は講義形式で行い、また理論を応用した作品を創る実習に加え、色彩心理、配色、ファッションやインテリアについて、個人やグループワーク等、主体的かつ対話的に取り組めるよう実習を行う。希望者は、「色彩検定3級」取得を目指す。</p>						
到達目標	<p>本科目「ヘアカラーコーディネート」は、基礎的な色彩についての知識を習得し、自ら考え、日々の生活や専門分野へ応用できることを目標としている。また、幅広い視点で色彩に触れることで、五感や感性、言葉や色で表現する能力を育む。また、グループワークにおいては、他者との関わり方、協調性、コミュニケーション能力を高め、自己理解と他者理解、さらには、社会人基礎力を身につけることをねらいとしている。</p>						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション、カラーセラピー体験	第16週	色彩調和、トーン配色について、カード実習				
第2週	身の回りにある色、色と光、カラー実習	第17週	前期試験対策				
第3週	生活環境と色彩(グループワーク)	第18週	配色技法、ネイルデザイン実習				
第4週	照明と色、色の分類、小テスト	第19週	ファッションと色彩、配色実習				
第5週	色の分類と三属性、配色ぬりえ実習	第20週	インテリアと色彩、配色実習				
第6週	PCCS色相環について、カード実習	第21週	プロダクトと色彩、配色実習				
第7週	PCCSトーンについて、カード実習	第22週	色彩と言葉の関わり・カード実習				
第8週	PCCS総合復習と小テスト	第23週	ヘアデザインと配色実習				
第9週	色と香りの相関関係(アロマセラピー体験)	第24週	混色と配色(パステルアート実習)				
第10週	混色とは何か、色彩心理	第25週	季節感と色彩(クリスマスカード作成実習)				
第11週	色彩心理コラージュ作成(グループワーク)	第26週	ヘアサロンインテリア実習 ①				
第12週	色の視覚効果(対比と同化)	第27週	ヘアサロンインテリア実習 ②				
第13週	季節感と色彩、作品作成実習	第28週	季節感と色彩、作品作成実習				
第14週	カラーコミュニケーション(理論と実習)	第29週	後期試験対策①(グループワークと発表)				
第15週	色彩調和、色相配色について、カード実習	第30週	後期試験対策②				
評価方法	<p>・定期試験は前期・後期共に実施し、小テスト及び課題提出、出席率、授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安:前期・後期試験・小テスト(60%)、課題提出・出欠率・授業態度等(40%)を総合的に判断し、評価する。</p>						
教科書 教材など	<p>出版社:(株)A・F・T企画。 書名:色彩検定公式テキスト3級、検定過去問題、カラーカード</p>						
実務経験	安井 けい子:カラーサロン主宰23年、色彩検定講師、パーソナルカラー講師				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	美容総合研究	学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	仁井名 由記	学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	授業方法	演習
授業概要 授業内容	<p>・毛髪の基礎知識を学ぶことで毛髪診断の必要性を理解させ、髪質に合ったヘアケア剤、薬剤の選定方法に役立てる。</p> <p>・授業方法は講義形式を中心に授業によっては実験を交えて毛髪の理解を高めるために毛髪診断を行い、頭皮の観察、毛髪の診断を行う。</p>						
到達目標	美容師に必要な毛髪を取り扱っていく上での知識を習得し、就職してからお客様の頭皮から毛髪についての相談に乗れるよう実践に役立てる。						
授業計画・内容							
第1週	物質の構成	第16週	ブリーチと毛髪損傷				
第2週	溶解とコロイド	第17週	ヘアダイと毛髪損傷				
第3週	飽和溶液と不飽和溶液	第18週	ヘアダイが染まって褪色しにくいわけ				
第4週	イオンと水素イオン指数	第19週	アルカリ分をほとんど含まないヘアダイ				
第5週	酸と塩基の定義と強弱	第20週	ヘアダイかぶれはアレルギー				
第6週	物質の変化と化学反応	第21週	ヘアマニキュアは酸性染料				
第7週	酸化・還元反応	第22週	その他染毛料のいろいろ				
第8週	タンパク質	第23週	毛髪とパーマ				
第9週	ケラチン	第24週	パーマの原理				
第10週	毛髪基礎知識①	第25週	パーマ1剤は還元剤、2剤は酸化剤				
第11週	ヘアサイクルとは？	第26週	パーマと毛髪損傷				
第12週	ケラチンは丈夫なタンパク質	第27週	ロッドとウェーブ				
第13週	毛髪はやや酸性が傷みにくい	第28週	パーマ2剤では中和しない				
第14週	毛髪とヘアカラー	第29週	毛髪診断 実習				
第15週	ブリーチの仕組み	第30週	毛髪診断 実習				
評価方法	<p>定期試験は実施せずに、課題、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>評価目安：小テストやレポート(50%)・授業態度や出席(50%)</p>						
教科書 教材など	<p>出版社：株式会社ビービーコム 書名：毛髪科学を知る及び毛髪のひみつ</p> <p>出版社：公益社団法人日本理容美容教育センター 書名：化粧品化学</p>						
実務経験	株式会社 毛髪クリニックリーブ21 3年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	一般教養(一般常識・手話)		学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	仁井名 由記 / 網浜 葉子 / 古沢 美登里		学年・学期	1年・通年	時間数	45 時間	授業方法	講義
授業概要・授業内容	(1)[一般常識]: 高校までに学習した漢字の読み書き、計算、時事問題など社会に出てから必要となる基礎知識を復習する。授業方法として学生の基礎知識の差があるため基本的な項目を復習しながら教えて行く。 (2)[手話]: 基本的な手話表現を習得し、日常生活や美容室などで簡単なコミュニケーションが図れるように学ぶ。授業方法は実演を交えて、生徒が復習や反復練習で技術を身につけられるようにまた、主体的に取り組めるように学習を進める。							
到達目標	(1)[一般常識]: 社会にでた時に困らないように漢字の読み書き及び小数点や加減乗除の計算、濃度計算、時事問題を理解させ、また国家試験筆記での問題を読み文書の意味が分かるように教える。 (2)[手話]: 聴覚障害者や手話について理解を深め、日常生活や美容室などで聴覚障害者に対してスムーズな対応ができることが目標である。							
授業計画・内容								
第1週	(1) 日常漢字を中心に教え復習させる。 (2) 自己紹介をしましょう。(名前の表現)			第16週	(1) 社会常識またはその時にタイムリーに起っている時事問題を確認し学習する。			
第2週	(1) 漢字の読み書きの復習 (2) 挨拶と家族の表現を覚えましょう。			第17週	(1) 社会常識またはその時にタイムリーに起っている時事問題を確認し学習する。			
第3週	(1) 漢字の読み書きの復習 (2) ろう者とのコミュニケーション			第18週	(1) 計算の基礎(小数点・分数)の復習から加減乗除の計算方法を教える。			
第4週	(1) 慣用句の学習 (2) 指文字を覚えましょう。			第19週	(1) 計算の基礎(小数点・分数)の復習から加減乗除の計算方法を教える。			
第5週	(1) 慣用句の復習 (2) 数字や時間の表現を覚えましょう。			第20週	(1) 計算の基礎(小数点・分数)の復習から加減乗除の計算方法を教える。			
第6週	(1) 慣用句の復習 (2) 趣味のことを話しましょう。			第21週	(1) 割合・百分率の計算の仕方を学ぶ			
第7週	(1) 文章能力を高める「読む力」 (2) 地名の表現を覚えましょう。			第22週	(1) 割合・百分率の計算の復習			
第8週	(1) 文章能力を高める「読む力」 (2) お天気と乗り物の手話を覚えましょう。			第23週	(1) 割合・百分率の計算の復習			
第9週	(1) 文章能力を高める(解読力) (2) 買い物ときの表現を覚えましょう。			第24週	(1) 百分率を使って濃度計算の練習			
第10週	(1) 文章能力(解読力) (2) ろう者の生活を知りましょう。			第25週	(1) 百分率を使って濃度計算の練習			
第11週	(1) 基本的な計算問題を教える (2) 災害に関する手話を覚えましょう。			第26週	(1) 慣用句の復習により事務処理やお客様の予約時に必要なところを学習する			
第12週	(1) 基本的な計算問題を教える (2) 知ってほしいこと(運転免許他)			第27週	(1) 慣用句の復習により事務処理やお客様の予約時に必要なところを学習する			
第13週	(1) 小数点・分数の計算 (2) 美容室にろう者のお客さまがこられたとき			第28週	(1) 前期でやった範囲を総合的に確認しプリンにまとめ授業展開を行う			
第14週	(1) 小数点・分数の計算 (2) 試験に向けてのリハーサル			第29週	(1) 前期でやった範囲を総合的に確認しプリントにまとめ授業展開を行う			
第15週	(1) 今までのまとめ (2) 試験			第30週	(1) 前期・後期授業のまとめと復習			
評価方法	[一般常識]: 定期試験を実施し、課題内容を考慮して成績を評価する。 ※評価目安: 授業点(33%)小テスト(33%)定期試験(34%) 「手話」: 定期試験を実施し試験や授業態度及び出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安: 定期試験(80%)・出席状況や授業態度(20%)							
教科書教材など	(1) 講師作成プリント(一部引用 出版: 廣済堂あかつき 本名: 実践就職問題集)、朝日新聞 (2) 「聴さんと学ぼう」							
実務経験	株式会社 毛髪クリニックリープ21 3年 岡山市手話学校での手話講師歴20年以上				実務経験のある教員による 授業科目			

2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	サロンワーク I		学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	奥田 京子		学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	授業方法	実技
授業概要・授業内容	<p>・美容師として仕事の幅を広げるために必要なメイク技術の理解を深めることで、ヘア&メイクのトータル的なデザインに繋げることができる基礎知識を学ぶ授業である。</p> <p>・授業方法は主に実技形式で、実践的な相モデルで授業を実施し、また講義では基本的な道具の使用方法や持ち方などを徹底的に指導すると共に、メイクに必要な色のもつバリエーションを理解させる。</p>							
到達目標	<p>・一般社団法人 JMA シュウ ウエムラ メイクアップ技術検定取得に向け実践的に役立つ授業を行うことで美容師として、お客様にメイクのアドバイスをできるように指導する。</p>							
授業計画・内容								
第1週	化粧品 の定義 化粧品の位置づけ、使用する化粧品の目的及び特徴			第16週	スキンケアの相モデルでテクニックのテスト(20分)15人			
第2週	メイクアップ理論 ベーシックテクニックの重要性、プロフェッショナルにとってのメイクアップの必要性			第17週	スキンケアの相モデルでテクニックのテスト(20分)15人			
第3週	道具の準備 ハードフォーミュラ(アイブローペンシル)を削る			第18週	ベーシックメイクアップ)を相モデルで実習。確実なテクニックの習得、時間内(30分)での仕事を意識し、完成度の高いメイクアップ技術を身につける。タイムの計測しての練習			
第4週	セルフメイクアップ、メイクアップ化粧品の使用方法を確認させ。			第19週	ベーシックメイクアップ)を相モデルで実習。確実なテクニックの習得、時間内(30分)での仕事を意識し、完成度の高いメイクアップ技術を身につける。タイムの計測しての練習			
第5週	スタンスチェック メイクモデルの扱い方などを、相モデルで確認			第20週	ベーシックメイクアップ)を相モデルで実習。確実なテクニックの習得、時間内(30分)での仕事を意識し、完成度の高いメイクアップ技術を身につける。タイムの計測しての練習			
第6週	ベースメイクアップ(アンダーベース・ファンデーション・フェイスパウダー)展示および実習 ファンデーションの色選			第21週	カラーカウンセリング システムの理解とカラーベースによるコーディネート ブルーベース、イエローベースに基づき、カラーベースを統一させたメイクアップデザインを考案する。			
第7週	ベースメイクアップの復習 スタンスやモデルの扱い方再確認理解			第22週	カラーカウンセリング システムの理解とカラーベースによるコーディネート ブルーベース、イエローベースに基づき、カラーベースを統一させたメイクアップデザインをグループワークする。			
第8週	ベースメイクアップ復習(相モデルで実習) 手順、テクニックのポイントなどを再確認、理解させる。			第23週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習1 (デザイン画に基づいたブルーベースの実習)			
第9週	ベースメイクアップ復習 リップメイクアップ展示及び実習 道具の扱い方、ブラシワーク、手順、テクニックのポイントを確認する。技術チェック後は、リップクレンジングをおこないモデルチェンジするなどして、テクニックの反復練習を行う。			第24週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習1 (デザイン画に基づいたブルーベースの実習)前回とは、違うモデルで実習			
第10週	ベースメイクアップ、リップメイクアップ復習 アイメイクアップ(アイシャドー)展示及び実習 プレスド アイシャドーを使用したシングルパターンテクニックのポイントを理解する。道具の扱い方、ブラシワーク、手順、テクニックを理解する。			第25週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習2 (デザイン画に基づいたイエローベースの実習)			
第11週	ベースメイクアップ、アイメイクアップの復習、アイメイクアップ展示、アイブローメイクアップ展示及び実習 眉のブローポジション、道具の扱い方、アイブローの描き方、手順、テクニックのポイントを確認する。技術チェック後は、アイブローブラシで取り去り、ベースメイクアップを整え、ドローイングを反復練習する。			第26週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習2 (デザイン画に基づいたイエローベースの実習)前回とは、違うモデルで相モデルで実習			
第12週	ベースメイクアップ、アイメイクアップ、リップメイクアップ、アイメイクアップ、アイブローメイクアップ復習 チークメイクアップ展示及び実習 道具の扱い方、ブラシワーク、手順、テクニックのポイントを確認する。			第27週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習3 (モデルに合わせたカラーコーディネートの実習)			
第13週	ベーシックメイクアップ復習 (ベースメイクアップ～チークメイクアップを重視し、完成度の高いメイクアップ技術を身につける。			第28週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習3 (モデルに合わせたカラーコーディネートの実習)モデルを変えての実習			
第14週	ベーシックメイクアップ)を相モデルで実習。確実なテクニックの習得、時間内(30分)での仕事を意識し、完成度の高いメイクアップ技術を身につける。			第29週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習3 (モデルに合わせたカラーコーディネートの実習)モデルを変えての実習			
第15週	ベーシックメイクアップ)を相モデルで実習。確実なテクニックの習得、時間内(30分)での仕事を意識し、完成度の高いメイクアップ技術を身につける。反復練習			第30週	各自カラーカウンセリングに基づいたナチュラルメイクの発表・感想			
評価方法	<p>・定期試験の実技は授業中に、学科は授業外で実施し、授業態度や出席状況及びノート提出を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安 : 毎時間の授業態度や出席及びノート提出(50%)・授業中の技術チェックや定期試験(50%)</p>							
教科書教材など	一般社団法人 JMA (日本メイクアップ技術検定協会)MEKEUP TECHNIQUECERTIFICATIONEXAMINATION							
実務経験	美容師歴:7年					実務経験のある教員による授業科目		✓

2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	サロンワークⅡ		学科名	ヘアビューティ		必須・選択	必須選択
担当教員	(前期) 丸山 江里奈 (後期) 奥田 京子/森下 堅一/井上 祐樹		学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	授業方法 実技
授業概要・ 授業内容	(前期)実際のサロンワークで使用する商材・薬剤を使用する事で、用具の取扱い上での注意点・トラブルやアレルギーに関する知識を学ぶ。授業はウィッグを用いての実技をメインとし、基本装着から基本のデザインまでのテクニックを身につける。 (後期):美容師に必要な指先を動かす練習として主に基本的な三つ編みから応用までを行い、またアップ時に必要とされるピンニングやブラシの使い方を教える。授業は実技演習形式で行い、指先の動きがみえるようにデモンストレーションゆくり分かりやすく繰り返して教え、できない学生には再度デモンストレーションを個別に行い、できる楽しさを教える。						
到達目標	(前期)目や目元の繊細な施術であることを十分に理解し、安全を配慮した衛生管理を身につける。またアイリストは美容師免許が必須な職業な為、基本的な知識と技術を身につける事や資格を生かした仕事への意識を高める事を目指す。 (後期):美容師の仕事は基本的に指先を使うことが大切であり、シャンプー、ブロー、カット、アップ等の技術も基本は同じであり、サロンワークⅡの授業を通して不器用でも練習する大切さを身に付けさせる。						
授業計画・内容							
第1週	まつ毛エクステーションとは何か。トラブル紹介		第16週	ウィッグで三つ編みの手順			
第2週	まつ毛の一般理論(毛髪学)、人工毛に触れる		第17週	ウィッグで三つ編みを細かく作る			
第3週	カウンセリング内容と意味、用具の紹介		第18週	ウィックでツイストの手順から応用			
第4週	道具の取り扱いと実習①(ツイザー)		第19週	フィッシュボーンの手順から応用			
第5週	道具の取り扱いと実習②(グルー・グループレート)		第20週	四つ網みの手順から細かく作る			
第6週	道具の取り扱いと実習③(エクステーション・テープ)		第21週	編み込み(三つ編み・裏網み・ツイスト)			
第7週	道具の取り扱いと実習④(プレケア剤)		第22週	三つ編みを利用してハーフアップ			
第8週	道具の取り扱いと実習⑤(リムーバー剤)		第23週	三つ編みを利用してのアップ ピンの止め方とブラシの使い方			
第9週	まつ毛エクステ連の工程復習		第24週	V字編み・丸四つ網の手順			
第10週	まつ毛エクステに関する衛生管理・接触皮膚炎について		第25週	編み込みを取入れたアレンジヘア			
第11週	目元のマッサージの仕方・ツボの位置・効果		第26週	アレンジスタイル応用① ルーズ感を出す・アイロン使用			
第12週	デザイン作成①(キューティーライン)		第27週	アレンジスタイル応用② ルーズ感を出す・アイロン使用			
第13週	デザイン作成②(セクシーライン)		第28週	アレンジスタイル応用③ ルーズ感を出す・アイロン使用			
第14週	デザイン作成(キューティー・セクシーライン)		第29週	V字編み・丸四つ網の復習			
第15週	まとめ・実技試験		第30週	エクステーションの付け方 V字編み・丸四つ網を利用する			
評価方法	(前期)定期試験を実施し実技は授業内、授業外での筆記試験、授業時に使用するプリントの提出、授業態度、出席状況を考慮して成績を評価する。※評価目安:実技テストや筆記試験(60%)・プリント提出(30%)・授業態度や出席(10%) (後期):学期末試験を実施せずに授業中の取り組む姿勢や技術チェック、成長度、出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安:授業中の意欲、実技チェック(50%)・成長度(40%)・出席状況(10%)						
教科書 教材など	(前期)日本理美容教育センター まつ毛エクステーション (後期):出版社:株式会社アイメディア 書名:パーティアップ(ドレスアップ・ドレスダウンスタイルの作り方)						
実務経験	前期:丸山 江里奈 eyëRina(アイリーナ)自サロン6年、(株)eyelashgarage認定講師 後期:奥田 京子 美容師歴7年/森下 堅一 美容師歴:7年/井上 祐樹 美容師歴:6年				実務経験のある教員による 授業科目		✓